



## CHAPTER 5

# Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU の会議管理設定

- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU への直接ダイヤル」 (P.5-1)
- 「会議作成オプションの定義」 (P.5-2)
- 「アドホック会議終了オプションの定義」 (P.5-2)
- 「動的な Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU レイアウトの設定」 (P.5-3)
- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU のサービスを管理する方法」 (P.5-3)
- 「サービスをカスタマイズする方法」 (P.5-5)

## Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU への直接ダイヤル

H.323 ゲートキーパーや SIP レジストラに登録せずに、「自動応答」メカニズムを使用して MCU の IP アドレスに直接ダイヤルすることをユーザに許可できます。

ユーザは MCU の IVR を使用して、作成または参加する会議を指定します。

MCU が H.323 ゲートキーパーまたは SIP レジストラにすでに登録されている場合も、該当する H.323 ゲートキーパーまたは SIP レジストラに登録されている自動応答番号を指定することにより、自動応答メカニズムへのアクセスをユーザに許可できます。MCU が有効な会議にルーティングできないコールは、すべて自動応答に送信されます。

### 手順

- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Conference Control] セクションを見つけます。
- ステップ 4** [Enable auto attendant] を選択します。
- ステップ 5** 自動音声番号を入力します。

このオプションは、MCU が H.323 ゲートキーパーまたは SIP レジストラにすでに登録されている場合に使用します。

- ステップ 6** (オプション) ユーザがこの自動応答番号を使用して会議にアクセスしたときに PIN の入力を要求するように MCU を設定するには、[Prompt for conference PIN during conference creation] を選択します。
- ステップ 7** [Apply] をクリックします。

## 会議作成オプションの定義

参加者が会議を作成する方法を指定できます。

### 手順

- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Conference Control] セクションを見つけます。
- ステップ 4** [More] をクリックします。
- ステップ 5** [Users can create conference using] フィールドで、ユーザが会議を作成する方法を選択します。
- [Scheduler only] : 会議スケジューリング アプリケーションを使用した会議作成だけを有効にします。
  - [Scheduler, Web and Control API] : 会議スケジューリング アプリケーション、[Conference Control] インターフェイス、または MCU API を使用する外部アプリケーションを使用した会議作成を有効にします。
  - [Scheduler, Web and Control API and Dial-in] (デフォルト) : 上記のすべての会議作成方法に加えて、アドホック会議を作成するためのダイヤルインも有効にします。
- ステップ 6** [Apply] をクリックします。

## アドホック会議終了オプションの定義

### 手順

- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Conference Control] セクションを見つけます。
- ステップ 4** [More] をクリックします。
- ステップ 5** [Terminate ad hoc conference when] フィールドで、ダイヤルイン (アドホック) 会議を終了する方法を選択します。
- [Last participant leaves] : 最後の参加者が会議を退席したときに会議が終了します。
  - [Conference creator leaves] : 会議の作成者が会議を退席したときに会議が終了します。
- ステップ 6** [Apply] をクリックします。

## 動的な Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU レイアウトの設定

ビデオ発信者の動的な会議レイアウトを定義できます。動的な会議レイアウトは、参加者の会議への参加や会議からの退席に応じて自動的に変化します。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Conference Control] セクションを見つけます。
  - ステップ 4 [More] をクリックします。
  - ステップ 5 [Select a set of dynamic layouts for all services] フィールドから動的レイアウトのセットを選択します。
    - [Enlarged main view] : メイン ビデオ フレームがディスプレイ内の最大のフレームになるレイアウトのセットを選択します。
    - [Same-sized view] : すべてのビデオ フレームが同じサイズになるレイアウトのセットを選択します。
    - [Customized set] : 使用可能なレイアウトから独自のセットを作成できます。  
カスタマイズされたセットに含まれるレイアウトは、[Change] リンクを使用して変更できます。
  - ステップ 6 [Apply] をクリックします。
- 

## Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU のサービスを管理する方法

- [「サービスの概要」 \(P.5-3\)](#)
- [「サービスの新規作成」 \(P.5-4\)](#)
- [「自動応答サービスの設定」 \(P.5-5\)](#)
- [「サービスの削除」 \(P.5-5\)](#)

### サービスの概要

サービスは、会議のテンプレートと見なすことができます。サービスは、会議の品質と機能を定義するメカニズムです。サービスはプレフィックスで識別されます。サービスのプレフィックス番号は、会議のサービスを指定するために会議 ID に組み込まれます。サービスの説明は、サービスの主な属性やサービスの対象用途を示します。

MCU には、複数の事前定義サービスが付属しています。1 つは SCCP プロトコル用、もう 1 つは Cisco Unified MeetingPlace 用、残りは音声およびビデオ会議用です。事前定義サービスは、ほとんどの音声およびビデオ コールに適合するように工場出荷時に設定されています。最初はこれらのサービスを使用し、必要に応じてニーズに合うようにサービスを変更することをお勧めします。

SCCP サービスを使用する場合は、次の制限事項があります。

- プレゼンテーション表示 (H.239) がサポートされない
- T.120 データ コラボレーションがサポートされない
- H.235 暗号化がサポートされない
- サポートされる最大解像度は CIF
- サポートされる最大コール レートは 768 Kbps
- G.722.1 および G.723 音声コーデックが使用できない
- 会議 PIN がサポートされない
- ダイアルアウトがサポートされない

## サービスの新規作成

新しいサービスには、ほとんどの会議に適合するデフォルト設定が含まれているため、通常、追加の設定は必要ありません。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Services] リスト セクションを見つけます。
- ステップ 4** [Add new service] を選択します。
- ステップ 5** サービスのプレフィックスとサービスの説明を自由なテキストで入力します。



(注) サービスのプレフィックスは、企業のダイアルプランの一部として使用されます。このプレフィックスがネットワーク内で使用される他のプレフィックスと競合しないことを確認してください。

- ステップ 6** (オプション) 会議を強制的に音声だけに設定するには、[Audio only] を選択します。
- ステップ 7** (オプション) 会議で SCCP プロトコルをサポートできるようにするには、[SCCP service] を選択します。
- ステップ 8** (オプション) [Display welcome screen] を選択して、ようこそ画面ウィンドウに表示するテキストを入力します。
- ステップ 9** (オプション) ようこそ画面に会議の説明を表示するには、文字列 \$DESC を入力します。  
 会議の説明は、[Create Conference] > [Conference Description] の [Conference Control] Web ユーザ インターフェイスで定義します。  
 会議の説明を定義しなかった場合は、デフォルトで \$DESC の部分に会議 ID が表示されます。
- ステップ 10** (オプション) ようこそ画面に会議 ID を表示するには、文字列 \$ID を入力します。
- ステップ 11** [Apply] をクリックします。
-

## 自動応答サービスの設定

### 手順

- 
- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 自動応答サービスとして使用するサービスの [Review] を選択します。
  - ステップ 5 [Set as Auto attendant service] リンクを選択します。
  - ステップ 6 [OK] をクリックします。
- 

## サービスの削除

### 手順

- 
- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 削除するサービスの [Review] カラムの矢印を選択します。
  - ステップ 5 [Delete] をクリックします。
  - ステップ 6 メッセージが表示されたら、[Yes] を選択します。  
サービス リストからサービスが削除されます。
- 

## サービスをカスタマイズする方法

- 「デフォルト レイアウトの設定」 (P.5-6)
- 「個人用レイアウトの有効化」 (P.5-6)
- 「参加者名の表示」 (P.5-7)
- 「プレゼンテーション表示の設定」 (P.5-7)
- 「暗号化サポートの設定」 (P.5-8)
- 「会議に参加した参加者のミュート」 (P.5-9)
- 「会議参加者の自動的な再接続」 (P.5-9)
- 「PIN の設定」 (P.5-10)

## デフォルト レイアウトの設定

### 手順

- 
- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Services] リスト セクションを見つけます。
- ステップ 4** [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
- ステップ 5** [More] をクリックします。
- ステップ 6** 会議レイアウトが参加者の参加や退席に応じて自動的に変化するように設定するには、次の手順を実行します。
- [Dynamically adjusted] を選択します。
  - 会議レイアウトが拡張される最大の参加者数を [Max displayed streams] フィールドから選択します。
  - [OK] をクリックします。
- ステップ 7** 会議の固定レイアウトを定義するには、次の手順を実行します。
- 会議の固定レイアウトを定義するため、[Static] を選択します。
  - [Select] を選択します。
  - 必要なレイアウトを選択し、[OK] をクリックします。
  - もう一度 [OK] をクリックします。
- ステップ 8** [Apply] をクリックします。
- 

## 個人用レイアウトの有効化

システム管理者は、会議参加者が会議中に個人別のレイアウトを作成できるように設定できます。個人別のレイアウトは、他の会議参加者のレイアウトに影響を与えません。この機能を無効にすると、オペレータも参加者も、このサービスを使用する会議の個人用レイアウトを作成および制御できなくなります。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Conferences] を選択します。
- ステップ 3** [Services] リスト セクションを見つけます。
- ステップ 4** [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
- ステップ 5** [More] をクリックします。
- ステップ 6** [Enable personal layout] を選択します。
- ステップ 7** [OK] をクリックします。
- ステップ 8** [Apply] をクリックします。
-

## 参加者名の表示

システム管理者は、主催者レベルのアクセス権を持つ会議参加者が会議の開始時に各サブフレームの下部に参加者の名前を表示できるように設定できます。

この機能はデフォルトで有効になっています。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
  - ステップ 5 [More] をクリックします。
  - ステップ 6 [Display participants names] を選択します。
  - ステップ 7 (オプション) 参加者名を継続的に表示するには、[Constantly] を選択します。
  - ステップ 8 (オプション) 会議中に参加者のビデオ フレームの場所が変化したときに参加者名を引き続き表示するには、[On location changes for] を選択して表示間隔 (秒単位) を入力します。
  - ステップ 9 [OK] をクリックします。
  - ステップ 10 [Apply] をクリックします。
- 

## プレゼンテーション表示の設定

プレゼンテーション表示 (H.239) をサポートするようにサービスを設定できます。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
  - ステップ 5 [More] をクリックします。
  - ステップ 6 [Enable presentation view] とプレゼンテーションのビデオ コーデックを選択します。
  - ステップ 7 [OK] をクリックします。
  - ステップ 8 [Apply] をクリックします。
-

## 暗号化サポートの設定

### 制約事項

MCU は IP ネットワーク経由の暗号化されたコールをサポートします。暗号化するサービスと必要な暗号化モードを設定できます。

SCCP サービスでは暗号化設定オプションを使用できません。

この暗号化は、H.235 標準に準拠し、128 ビットの暗号化鍵による AES 暗号化アルゴリズムをサポートします。

MCU の暗号化は、次のいずれかのモードで動作します。

- [Disabled] : 暗号化なし。このモードでサポートされる機能は、優先順位 1 : 暗号化なしです。
- [Best effort] : このモードでは、「ベスト エフォート」の暗号化アルゴリズムが実装されます。暗号化をサポートするエンドポイントは、暗号化して接続されます。暗号化をサポートしないエンドポイントは、暗号化なしで接続されます。このモードでサポートされる機能は、512 ビット長または 1024 ビット長の AES 128 キーです。
  - 優先順位 1 : AES 128
  - 優先順位 2 : 暗号化なし
- [Strong encryption required] : このモードでは、AES 128 で暗号化されたコールだけが許可されます。AES 128 をサポートしないエンドポイントの接続は許可されません。このモードでサポートされる機能は、1024 ビットの AES 128 キーです。

次のチャンネルで暗号化がサポートされます。

- 音声チャンネル
- ビデオチャンネル
- 遠端カメラ制御 (FECC)



(注)

同じコール上のすべてのチャンネル（音声、ビデオ、FECC、着信、および発信）は、暗号化レベルが同じである必要があります。すべてのチャンネルで暗号化に成功しないと、コールが切断されます。

### 手順

- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
- ステップ 2 [Conferences] を選択します。
- ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
- ステップ 4 [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
- ステップ 5 [More] をクリックします。
- ステップ 6 [Encryption] を選択します。
- ステップ 7 [Encryption mode] フィールドから暗号化のタイプを選択します。
  - Best effort
  - Strong encryption required



- ステップ 8 [OK] をクリックします。
  - ステップ 9 [Apply] をクリックします。
- 

## 会議に参加した参加者のミュート

### 手順

---

- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
  - ステップ 5 [More] をクリックします。
  - ステップ 6 会議に参加したすべての参加者を最初にミュートするように MCU を設定するには、[Auto mute joining participant] を選択します。  
会議が始まった後、会議の主催者は選択した参加者のミュートを解除できます。これは、講義の場合に便利です。
  - ステップ 7 (オプション) 最初に会議に参加した参加者を除くすべての会議参加者を最初にミュートするように MCU を設定するには、[Auto mute first joining participant] の選択を解除します。
  - ステップ 8 [OK] をクリックします。
  - ステップ 9 [Apply] をクリックします。
- 

## 会議参加者の自動的な再接続

切断された端末に自動的にコールを行い、再接続を試行するように MCU を設定できます。MCU は再接続を 3 回試行します。

### 手順

---

- ステップ 1 [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2 [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3 [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4 [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
  - ステップ 5 [More] をクリックします。
  - ステップ 6 [Automatically reconnect dropped participants] を選択します。
  - ステップ 7 [OK] をクリックします。
  - ステップ 8 [Apply] をクリックします。
-

## PIN の設定

会議にアクセスするための PIN の使用に関するポリシーを定義できます。  
最大 32 文字までの PIN を使用できます。

### 手順

---

- ステップ 1** [Configuration] を選択します。
  - ステップ 2** [Conferences] を選択します。
  - ステップ 3** [Services] リスト セクションを見つけます。
  - ステップ 4** [Services] リスト セクションで変更するサービスを見つけるか、[Add new service] を選択します。
  - ステップ 5** [More] をクリックします。
  - ステップ 6** ユーザがこのサービスを使用する会議を作成または参加するときにユーザに PIN を入力させるには、[Force conference PIN protection] を選択します。
  - ステップ 7** 招待者が会議に参加するときに招待者に PIN を入力させるには、[Ask for conference PIN on invite] を選択します。  
ダイヤルインの参加者だけに会議 PIN を入力させる場合は、選択を解除したままにします。
  - ステップ 8** [OK] をクリックします。
  - ステップ 9** [Apply] をクリックします。
-